

企業名： 関西ペイント

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

関西ペイントは企業理念を「塗料事業で培った技術と人材を最大限に活かした製品・サービスを通じて、人と社会の発展を支える。」とし、また5ページの毛利社長の話では関西ペイントはGreatな企業を目指しているとも書かれている。Greatな企業とは利益追求と社会発展への貢献を両立する企業であり、関西ペイントはここに「塗料のプロフェッショナルであるからこそできる」、「グローバルに展開する」という要素を加えている。人と社会の発展を支えるという点については、13ページより資源循環と経済循環の両立の実現や、塗装することで建物の寿命を延ばすことができる、また17ページからこの目標実現のための気候変動、デジタル化、原材料高騰、紛争・感染症、ダイバーシティ、サプライチェーンにおける環境、社会側面の責任の拡大についてのリスクや機会などが読み取れる。そしてそのための取り組みなども説明されている。さらに19ページ以降、各部門の目指す姿などが事業部長から述べられている。関西ペイント独自の要素2つについては3ページより特定分野に依存しない経営として自動車、建築、自動車補修など様々な場面での塗料使用にかかわっており、塗料のプロフェッショナルであるからこそできることの説明がされている。また、特定地域に依存しないグローバル展開では日本が33%と高いが、欧州、インドでも約20%、アジア、アフリカでも10%と満遍なく売上を上げ、グローバル展開の説明もなされている。そのため関西ペイントの将来の姿は理解しやすい。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

この会社は様々な場面に応じた塗料を作る経営をしており、一つの分野がだめになっても痛手が少ないという強みがある。またほかの企業に比べ環境に関しての意識が強く、より環境にやさしい塗料を作っている。このことについては30ページに詳しく書かれており、気候変動に対しての考え方もうかがえる。これからの社会において取引先がファーストチョイスに選ぶ可能性が高いと考えられる。グローバル市場においても世界8位のシェアを誇り、特に自動車関連では日本、インド、アジアでシェア一位と強さを見せている。以上より関西ペイントの競争優位性は理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

まず環境意識の高さからくる、環境にやさしい塗料を作るという点だが、現在世界中でサステナビリティなどが重視されていて、特に欧州では顕著である。ゆえにこれから環境にやさしい製品を作る企業は増えていくと考えられるため、この会社の強みは薄れていくのではないだろうか。またグローバル市場の広さにおいても売り上げの約20%は欧州であるため、現地企業が環境にやさしい塗料を作り始めた場合、シェアは落ちるのではないだろうか。関西ペイントの優位性は揺らぐ恐れがあると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

この会社はサステナビリティを重視している会社であり、さらに人と社会を支えるという企業理念のもと働くため、これからの社会で必要となる環境にやさしい事業を企画する能力が身につくと考えられる。また、グローバルな市場を持っており、その地域で営業するために語学力が必要とも考えられ、世界進出のために必須の能力になりつつある英語を身につけることができる。よって関西ペイントで人的資本の価値向上は達成できると考える。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

報告書の良かった点はグラフや画像が多く使われ、色分けもきっちりされているためとても見やすいと感じた。さらに細かい数字も載せられているので説明に説得力があった。個人的にとっても見やすい報告書だと思い、特に改善が必要だとは思わなかった。